



KUMAGAI GUMI

———— Building the future

第 **75** 期

中間株主通信

平成23年4月1日▶▶▶平成23年9月30日

株式会社 熊谷組

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成23年9月30日をもって第75期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の前半を終了いたしましたので、ここに上半期の概況についてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、東日本大震災後の急速な落ち込みから、生産活動はサプライチェーンの復旧により回復を続け、雇用情勢も緩やかながら持ち直しの動きがみられましたが、企業収益は減少し、輸出や個人消費も横ばいとなるなど、景気は引き続き厳しい状況で推移しました。

建設業界におきましては、公共投資は震災復旧関連予算の執行が進み増加となりましたが、民間設備投資及び住宅投資は震災の影響を受けて低調に推移し、価格競争も激化したため、総じて厳しい経営環境となりました。

当上半期の当社グループの連結業績につきましては、売上高は、前年同期比2.0%減の1,103億円となりました。利益は、一部工事の利益率低下及び為替差損の発生等により、営業損失は3億円、経常損失は7億円となり、第2四半期の四半期純損失は法人税等の減額調整などにより8千万円となりました。

今後のわが国経済は、サプライチェーンの立て直しや各種の政策効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが予想されます。しかしながら、電力供給の制約や原子力災害の影響及び海外景気の下振れ等のリスクが存在しており、先行きについては予断を許さない状況にあります。

建設業界におきましては、公共投資は第3次補正予算の編成及び執行による増加が見込まれ、民間設備投資及び住宅投資も被災した設備・住宅の修復や再建、耐震工事などで増加していくものと期待されます。



取締役社長

大田 弘

このような状況の中で当社グループは、お客様から必要とされる企業であり続けるため、環境変化を先取りして新たな付加価値を提供するとともに、「誠実なものづくり」を一層徹底させて、さらなる経営体質の強化を図ってまいります。

土木事業につきましては、民間工事の営業活動に注力してまいります。中でも、電力・鉄道及び環境・リニューアル分野では、グループ会社との連携を強化し、豊富な施工実績を活かした提案活動を行ってまいります。また、縮小が続く公共工事では、参加案件の選択と集中及び技術提案力の強化により受注確保を図ってまいります。

建築事業につきましては、施工する建築物の品質確保はもとより、営業・生産・アフターケアなど全ての段階においてお客様のご期待にお応えし、パートナーとしてさらなる信頼をいただけるよう、取り組みを強化してまいります。

当社グループといたしましては、東日本大震災を契機とする建造物に対する安全・安心への期待の高まりに対して、汗を厭わず、社会のために全力を尽くすという“建設業の使命”を果たし、「お客様に感動を」のスローガンのもと、「誠実なものづくり」と「法の完全遵守」を徹底し、どこよりも信頼される企業を目指してまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 企業集団の財産及び損益の状況の推移

(百万円)

区 分	前上半期	当上半期	前 期
売 上 高	112,593	110,358	240,481
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	341	△85	1,575
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	1円91銭	△0円47銭	8円82銭
総 資 産	178,864	175,019	179,922

単体の業績について

受注高は、前年同期比4.5%増の836億円となりました。このうち、土木工事は258億円、建築工事は577億円であり、これらの発注者別内訳は官庁18.0%、民間82.0%であります。また、国内、海外別で見ますと、国内工事は826億円、海外工事は9億円であります。

売上高につきましては、同6.7%減の846億円となりました。このうち、土木工事は251億円、建築工事は595億円であり、これらの発注者別内訳は官庁20.9%、民間79.1%であります。また、国内、海外別で見ますと、国内工事は839億円、海外工事は7億円であります。

この結果、下半期への繰越高は、同0.1%増の1,841億円となりました。このうち海外工事は6億円であります。

利益につきましては、経常損失は9億円、第2四半期の四半期純損失は2千万円となりました。

■ 受注高・売上高及び繰越高 (平成23年4月1日から平成23年9月30日まで) (百万円)

区 分	受注高	売上高	繰越高
土 木	25,814	25,118	56,717
建 築	57,794	59,519	127,450
合 計	83,608	84,637	184,167

■ 財産及び損益の状況の推移 (百万円)

区 分	前上半期	当上半期	前 期
受 注 高	80,004	83,608	176,708
売 上 高	90,760	84,637	185,477
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	1,229	△27	1,179
1株当たり四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	6円84銭	△0円15銭	6円56銭
総 資 産	145,678	138,629	141,302

■ 主な受注工事及び完成工事

受注工事

- 東日本大震災に係る仙台空港旅客ターミナルビル民間部分災害復旧工事：仙台空港ビル株式会社
- 東九州道（佐伯～蒲江）蒲江トンネル南新設工事：国土交通省
- (仮称) プレミスト東静岡駅前新築工事：大和ハウス工業株式会社
- 北海道横断自動車道浦幌町釧勝トンネル工事：北海道開発局

完成工事

- 小丸川発電所新設工事のうち土木本体工事（第3工区）：九州電力株式会社
- アパホテル<名古屋栄>新築工事：アパホーム株式会社
- 北陸新幹線、長野赤沼高架橋他：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- 那覇ゴルフ倶楽部クラブハウス新築工事：沖縄土地住宅株式会社

四半期連結財務諸表の概要

■ 四半期連結貸借対照表

(百万円)

	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日現在)
(資産の部)	
流動資産	133,570
固定資産	41,448
有形固定資産	13,714
無形固定資産	270
投資その他の資産	27,463
資産合計	175,019
(負債の部)	
流動負債	100,314
固定負債	29,311
負債合計	129,625
(純資産の部)	
株主資本	43,826
その他の包括利益累計額	209
少数株主持分	1,357
純資産合計	45,393
負債純資産合計	175,019

■ 四半期連結損益計算書

(百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
売上高	110,358
売上原価	105,002
売上総利益	5,356
販売費及び一般管理費	5,709
営業損失	353
営業外収益	250
営業外費用	689
経常損失	792
特別利益	107
特別損失	140
税金等調整前四半期純損失	825
法人税、住民税及び事業税	392
法人税等調整額	△1,091
少数株主損益調整前四半期純損失	125
少数株主損失	40
四半期純損失	85

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	△428
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,869
現金及び現金同等物に係る換算差額	△209
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,482
現金及び現金同等物の期首残高	39,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,481

○連結の範囲について

連結子会社7社及び持分法適用関連会社4社

(主要な連結子会社)

株式会社ガイアートT・K	(東京都新宿区)
テクノス株式会社	(愛知県豊川市)
ケーアンドイー株式会社	(東京都新宿区)
華熊營造股份有限公司	(台湾)

ポイント

■ 四半期連結貸借対照表

総資産は1,750億円と前期末に比べて49億円減少しました。これは支払手形・工事未払金等の仕入債務の支払が進んだことに伴う現金預金の減少等によるものです。また純資産は前期末とほぼ同額の453億円となりました。これらの結果、自己資本比率は25.2%となり、前期末の24.4%から改善しました。

■ 四半期連結損益計算書

売上高は震災関連工事の増加等により期首の業績予想値を上回る1,103億円となりましたが、一部工事の利益率低下及び為替差損の発生等により経常損失は7億円となりました。四半期純損失は法人税等の減額調整などにより8千万円となりました。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動では仕入債務の支払が進んだことなどにより59億円の資金減少となりました。投資活動では有料道路白糸ハイランドウェイ(長野県軽井沢町)の運営会社を買収したことなどにより4億円の資金減少となりました。財務活動では借入金の返済を進めたことなどにより18億円の資金減少となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて84億円減少の314億円となりました。

CSR報告書の記事を一部ご紹介

各地でさまざまな復旧活動

現場事務所を近隣住民の避難所に

震災後停電が続いた仙台市。ある土木工事の作業所では、工事で使用していた発電機で電気を確保し、すぐに会議室を近隣の被災者に開放しました。電気が復旧するまでの10日間、炊き出しを行うなどして約30名が寝起きをともにしました。



結婚式場で夜を徹した補修工事

埼玉県にある当社施工の結婚式場では、地震で給水管の断裂が発生し、全く水が出なくなりました。翌日には7組の結婚式が予定されていたため、朝までになんとかしてほしいとの連絡がありました。当社社員、グループ会社のケーアンドイー株式会社及び協力会社は、資機材の調達が難しい中、夜を徹して断裂箇所の探索、補修方法の検討、補修工事を行い、なんとか朝6時ごろに作業を終了、無事、結婚式に間に合わせることができました。

環境学習に力を入れています 野々市小学校で環境学習・現場見学会



平成22年12月、石川県の野々市町立野々市小学校の5年生を対象に環境学習及び3R現場見学会を実施しました。今回の授業は、工事現場を生きた教材として児童に授業をしてほしいと教頭先生から依頼を受けて実現したものです。

当日は、最初に5年生2クラス合同で「地球温暖化について」「生物のつながりについて」と題して、1時間の環境授業を行いました。続いて各教室で「建設現場でのリサイクル」についての取り組みを説明した後、建設中のプールを見学して実際の現場での3Rを学んでもらいました。児童たちは、ちょうど環境問題について勉強しているところとあって大変好評でした。

ご希望の方にはCSR報告書をお送りします

本年7月に「熊谷組グループCSR報告書2011」(A4版、32ページ)を発行しました。当社グループの「ものづくり」の取り組み姿勢、環境、社会貢献に関する具体的事例を幅広く紹介しています。また、トップメッセージとして大田社長の「建設業の使命」、特集として「東日本大震災、そのとき熊谷組は」を掲載しています。

ご希望の方はメールまたはFAXで、「CSR報告書希望」と書き、送付先の郵便番号、住所、氏名を当社下記CSR報告書請求先までお知らせください。

なお、お知らせいただいた個人情報は、CSR報告書の送付のみに使用させていただきます。

CSR報告書請求先

(メールアドレス) info@ku.kumagaigumi.co.jp

(FAX) 03-5261-9665



発行済株式の総数	222,744,607株
普通株式	184,044,607株
第2回第1種優先株式	38,700,000株

株主数

普通株式	58,904名
第2回第1種優先株式	1名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
株式会社三井住友銀行	普通株式 7,286 第2回第1種優先株式 38,700 計 45,986	20.82
熊谷組取引先持株会	普通株式 20,212	9.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	普通株式 5,109	2.31
熊谷組持株会	普通株式 4,589	2.07
有限会社京醍醐味噌	普通株式 4,556	2.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	普通株式 4,291	1.94
株式会社ミネラルソフト	普通株式 3,940	1.78
熊谷組互助会	普通株式 3,883	1.75
笹島建設株式会社	普通株式 2,800	1.26
熊谷太一郎	普通株式 1,796	0.81

(注) 1. 当社は自己株式1,927千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

取締役及び監査役

取締役社長 (代表取締役)	大田 弘	常務取締役	草桶 昌之
取締役副社長 (代表取締役)	新井 克人	常勤監査役	櫻井 秀人
取締役副社長	市川 康生	常勤監査役	竹間 忠尚
専務取締役	船本 隆則	監査役	篠原 啓慶
専務取締役	佐塚 和夫	監査役	垣見 隆
常務取締役	石垣 和男		

(注) 監査役篠原啓慶及び垣見 隆の両氏は社外監査役であります。

執行役員

※執行役員社長	大田 弘	執行役員	森次 誠治
※執行役員副社長	新井 克人	執行役員	牧野 有孝
※執行役員副社長	市川 康生	執行役員	田代 静夫
※専務執行役員	船本 隆則	執行役員	堀田 俊明
※専務執行役員	佐塚 和夫	執行役員	大島 邦彦
専務執行役員	吉川 定	執行役員	香取 光夫
※常務執行役員	石垣 和男	執行役員	土屋 良直
※常務執行役員	草桶 昌之	執行役員	渋川 智
常務執行役員	作本 裕行	執行役員	櫻野 泰則
常務執行役員	永島 仁	執行役員	飯田 宏
常務執行役員	栗林 棟一	執行役員	小川 嘉明
常務執行役員	樋口 靖	執行役員	山崎 晶

(注) ※印は取締役兼務であります。

会社の概要

(平成23年9月30日現在)

創業 明治31年1月 資本金 133億4,116万2,615円
設立 昭和13年1月 従業員数 2,331名

主要な営業所等

本店
福井市中央2丁目6番8号
〒910-0006 TEL (0776) 21-2700

東京本社
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03) 3260-2111

北海道支店
札幌市中央区南1条西6丁目11番地
〒060-0061 TEL (011) 261-7271

東北支店
仙台市青葉区上杉5丁目3番36号
〒980-0011 TEL (022) 262-2811

首都圏支店
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03) 3260-4750

名古屋支店
名古屋市中区栄4丁目3番26号
〒460-8402 TEL (052) 238-3011

北陸支店
金沢市小金町9番18号
〒920-8721 TEL (076) 253-3100

関西支店
大阪市西区靱本町1丁目11番7号
〒550-0004 TEL (06) 6225-2226

中四国支店
広島市中区大手町4丁目6番16号
〒730-0051 TEL (082) 241-3222

海外拠点
中国（香港）、台湾、ベトナム、スリランカ

九州支店
福岡市中央区渡辺通4丁目10番10号
〒810-0004 TEL (092) 721-0011

国際支店
東京都新宿区津久戸町2番1号
〒162-8557 TEL (03) 3235-8639

技術研究所
つくば市鬼ヶ窪1043番地
〒300-2651 TEL (029) 847-7501

(注)九州支店は平成23年11月28日付で上記住所に移転しております。

株式インフォメーション

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、右記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買増請求のお取扱いについて

単元未満株式(1,000株未満の株式)をご所有の場合、その単元未満株式数と併せて単元株式数(1,000株)となる株式数について、当社に買増請求をすることができます。お手続きの詳細につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は口座のある証券会社に、証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
剰余金の配当 毎年3月31日
そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先) 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<<http://www.kumagaigumi.co.jp/>>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所